

令和6年度 自己評価結果公表シート

作成 みどり幼稚園

1. 本園の教育目標

仏教の教えを基に「つよく・あかるく・なかよく」をモットーに子どもの主体性を育む。

すべてのいのちを尊び、大切にする。

一人ひとりが育つ和合の保育。

・一人ひとりの子どもを大切に保育

・保護者とともにある保育

・全職員が協同する幼稚園

・地域に開かれた幼稚園

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

教育・保育の充実をはかり、子どもたちの社会性を育む。

保護者との更なる連携強化に努める。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
・研修の充実と質の向上	・研修受講機会を配慮し、受講していない先生にも報告する。 ・園内研修の充実に努める。
・一人ひとりの特性を理解し必要な支援を行い 支援機関・保護者との連携を大切に考慮し 職員間の共有を図り、向上に務める	・支援機関との連携を図り、個人における共通の理解を確認し 子どもが主体的に幼稚園生活を送ることが出来るように支援する。 ・子どもの発達や子育てに対する保護者の不安感に寄り添い、対応する。
・子ども一人ひとりの個性の把握と個性に 応じた適切な指導・援助の充実	・教職員間の情報を共有し、チームみどりとして子どもたちと関わる事が出来る。
・わらべうたの充実	今年度も園内研修を実施することが出来、更なるスキルアップを図ることが出来た。
・クラス通信や園通信等で 幼稚園の様子や出来事を見て頂き、 保護者や地域の方々と連携を深める。	・クラス通信や園通信で、子どもの園での様子をお知らせすると同時に ひき続き「てのりの」で動画の配信を行った。
・保護者とのコミュニケーションをはかり、 本園の保育を保護者に伝える。	・対面で話しをする機会が増え、子どもの様子を伝えることが出来た。 ・ホームページの更新並びにInstagramを始め、日々の様子を伝えることが出来た。 ・行事の様子や保育のひとコマを「てのりの」で配信した。 ・ルクミーを使用して保護者と繋がる事ができた。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

園児が減ってきているので園の魅力をもっと伝えることが必要。

幼稚園並びに保育園との職員間の連携を細かく共有しようとする姿勢が伝わり、連携もできている。

引き続き、園の方針や実践を伝え、保護者との信頼関係を構築を望む。

コロナは終息したが、引き続き消毒作業等の感染防止対策を行うことが重要である。

引き続き連携施設である保育園・学童との連携を深めて、情報の共有を行うことが重要である。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
特別支援教育	各関係機関との連携を今まで以上に図れるように努める。 子どもの「こまり感」に対応するべく、研修に積極的に参加する。 各クラスの領域を超えて職員間の協力を図る。
教職員間の情報共有と信頼関係の構築	ひき続き教職員間の信頼関係を構築する。「ナノティー」「グループLINE」 並びに「ルクミー」「てのりの」を活用し、情報共有に努める。
保護者に対する情報の提供	幼児の幼稚園での普段の様子を保護者にもっと分かって もらう為、日常的にルクミー（連絡帳）の使用を充実させた。 在園児の保護者はもとより園の魅力や世間一般にも知ってもらうことも必要。
安全・安心	コロナ・インフルエンザ感染防止の観点から、消毒・除菌等を継続すると 共に危険箇所等が無い点検等に努める。

6. 学校関係者の評価

委員からは良好な運営をされ、また学校評価にも積極的に取り組まれているとの意見を頂いた。

幼稚園・保育園・学童との連携も図られており、更なる連携強化に努めて頂きたいとの意見を頂いた。

また、引き続きコロナ・インフルエンザ感染防止の観点から、引き続き消毒・除菌等に努めると共に、保護者との信頼関係を築き
今後も積極的に取り組むことを望むとの意見を頂いた。

地域の小学校との連携をもっと強化し、地域に開かれた幼稚園を目指して頂きたいとの意見を頂いた。